

リスクアセスメント報告書 (事例1-2)

対象作業名 : スイングヤーダ集材作業 実施者氏名 : ○○さん、△△さん、□□さん、◎◎さん

報告書作成日 : 平成○○年○○月○○日

No.	危険要因の洗い出し					リスク見積り(現状)		リスク評価(現状)	リスク低減対策			改善に当たり考慮すべき事項	優先順位
	作業名	危険要因の内容	災害に至るプロセス			可能性	重大性	リスクレベル	可能性	重大性	リスクレベル		
			～するとき	～したので	～(事故の型)になる								
		石、集材木	のり面が高いとき	材や石の転落が見えなくて	ベースマシンに当たる	△	△	3	○	○	1		2
									△	△	3		1
3	材の引き寄せ	ワイヤーロープ	材を引き寄せるとき	引っかかった材をアームを上げて無理に引き寄せたので	ワイヤーロープが切れてキャビンに激突する	○	×	3	○	○	1		3
									○	△	2	1 傷んでいるところはつなぎ直す 2 交換基準に従って交換する	2
									○	○	1	索を張る前に研修をする	1
			リスク低減対策は、検討の順序に従って考える ①危険作業を廃止。作業のやり方・機械・道具等を変更 ②安全装置、保護具等の対策 ③教育等による人材対策										
4	荷かけ	ワイヤーロープ	荷掛けしようとしたとき	ワイヤーロープが上下に大きく揺れて	激突する	△	△	3	○	○	1		1
									○	△	2	具体的な方法を決めておく	3
									○	○	1		2
									○	○	1		4
									○	△	2		1
									△	△	3		3
									○	△	2		1
									△	△	3		3
6	グラップルで掴んで動かす	集材木	材を掴んで動かすとき	人が危険範囲にいたので	人に激突する	△	×	4	○	○	1		2
									○	○	1		1
									○	△	2		1
									△	△	3		2
7	スイングヤーダによるかかり木の引き寄せ	かかり木	かかり木を引き寄せるとき	元口が動かなかったので	かかり木の上部が機体方向に倒れ激突する	△	×	4	○	○	1		2
									○	△	2		1

リスク低減対策は、検討の順序に従って考える
 ①危険作業を廃止。作業のやり方・機械・道具等を変更
 ②安全装置、保護具等の対策
 ③教育等による人材対策

対策後のリスクレベルを確保する方法を具体的に示す
 ①対策後に発生する別の新しいリスクに対応する事項
 ②残留リスクが増大しないように考慮すべき事項

たまたま、この現場で発生していたかかり木をスイングヤーダで処理した時に起こったヒヤリハットから出された。

リスクの評価基準

災害の可能性

可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

災害の重大性

重大性ランク	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
×	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)